



発行日 2011年 2月25日 第27号

発行 札幌歯科医師会口腔医療センター

〒064-0807札幌市中央区南7条西10丁目

TEL(011)512-9497 FAX(011)511-2272

<http://www.dnet.or.jp/center>

E-mail [omc-s@dnet.or.jp](mailto:omc-s@dnet.or.jp)

発行人 龍方 省二 発行責任者 藤田 一雄

## 口腔医療センターの近況

障がい者診療部副部長  
山口 親彦

今年は雪が少ないと思ったのも松の内だけ、どんどん雪が降り続き、ついには記録的な大雪の状態となりましたが、皆様、無事に過ごされましたでしょうか。まだまだ寒い日が続きますので益々健康にご留意ください。

今期、口腔医療センターは龍方先生が所長に就任され、新体制となっていますが、障がい者診療部でも所員・担当医が数名入れ替わり、昨年6月より新しい診療体制となりました。(比較的にはありますが)若い先生が多いので、障がい者診療部に新しい風を吹き込んでくれるのではないのでしょうか。

永くセンターに通われている方はご存知と思いますが、ここ数年で常勤の歯科衛生士の顔ぶれもかなり変わりました。特に、昨年8月を以て藤原士長が定年退職されたことが印象に残っております。センターの開設から勤められ、正に「生き字引」とも言える存在でした。スタッフの交代や新人研修のため患者の皆様や付き添いの方々にご迷惑をおかけすることもあったかと思えます。しかしながらここへきてようやく歯科衛生士間の連携もスムーズにいくようになり、円滑な診療が出来る体制が整ったのではないかと思います。

これからもより一層の元気と熱意を持ち、障がい者診療部全員で、皆様の口腔の健康を守るために努力していきたいと考えています。

## 第27回日本障害者歯科学会学術大会に出席して

障がい者診療部部長 牧野 秀樹

日本障害者歯科学会学術大会は「高齢社会における障害者歯科医療」というテーマで10月23日(土)・24日(日)東京都で開催されました。多くの研究発表・症例報告・講演・シンポジウムがあり、どこの会場も満席でした。

特に興味深かった講演を幾つか挙げてみます。まず「食行動の発達と障害:昭和大学医学部小児科学教室教授 田角勝先生」の講演では、「食べること」が単に栄養摂取ではなく、まさに“食育”であり脳の発達・身体的成長、その後の生活・コミュニケーションに大きな影響を与えること。適切な時期に適切な刺激を与え良好な発育を促すことの重要性を再確認いたしました。逆に刺激がない状態、好ましくない状況(刺激)が長期間続くことにより意欲(自発行動)がなくなってしまう場合、その状況から改善した例など、臨床例(ビデオ・写真)を提示してお話されていました。“自分で”“上手に(安全に)”“おいしく”食べることの積み重ねが重要だと思いました。

「障害者の合併頻度が高い循環器疾患の歯科治療時の管理:東京歯科大学歯科麻酔学講座教授 一戸達也先生」では、一般的な教科書的講義ではなく、各種学会の治療に関するガイドラインから注意しなければならないポイントについてくわしく講演されていました。

「地域における摂食・嚥下リハビリテーション:日本大学歯学部摂食機能療法学講座准教授 戸原玄先生」では、臨床例の経過を内視鏡検査の動画を使いわかりやすく解説されていました。たまたまうまく関係者の中でコーディネートされた患者さんだけが利益をうけるのではなく、相談を受けた歯科医師が迅速・積極的に行動しネットワークを広げることの重要性を訴えていました。

大会2日目に阿部歯科衛生士の発表がありました。初発表とは思えないくらい堂々と発表し、質問に答えておりました。来院できないリコール(定期検診)中断患者に対しての対応方法に関する質問がありました。現在当センターでは訪問診療をおこなっていないので、リコール中断患者に対しても地域の歯科医療機関と連携した積極的な管理が重要であると思いました。

他口腔保健センターからも同様の発表や、実態調査・動態調査が数多くあり、調査項目も多種多様で参考になりました。日頃からの患者分析をまとめ、効果的に行政および市民へアピールできる資料作成・整備、広報啓発活動も必要であると思いました。

様々な学会に積極的に参加し最先端の情報・知識を学び、当センターを訪れる患者さんとご家族・保護者・施設職員の皆様の役に立つように研鑽を積んでいきたいと考えております。

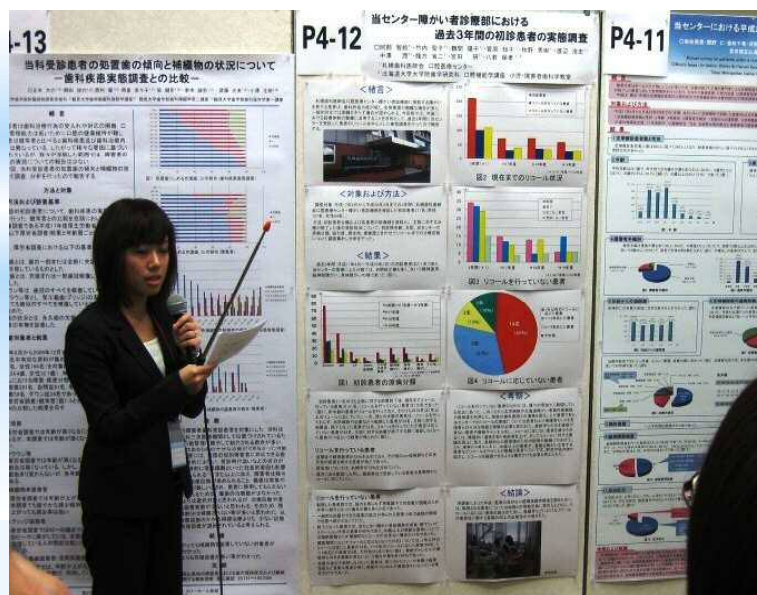


# 第27回日本障害者歯科学会学術大会に出席して

障がい者診療部 歯科衛生士 阿部 智絵

平成22年10月23日(土)・24日(日)に東京都江戸川区タワーホール船堀で開催された第27回日本障害者歯科学会学術大会に出席してまいりました。

今回は出席するだけでなく「当センター障がい者診療部における過去3年間の初診患者の実態調査」という演題名でポスター発表をさせて頂きました。発表では緊張でポスターの内容を簡潔にわかりやすく伝えることが出来ているのかわからない状況でしたが、質問の回答を含め、同じく出向している先生方からも説明が出来ていたという言葉頂き安心しています。初めての発表でしたが、準備段階から発表まで様々な事を学ぶことが出来ました。そして講演や一般演題をたくさん見て聞くことが出来、知識を増やす事も出来ました。学んだ事は他のスタッフにも伝達したいと思います。出向させていただきありがとうございました。





## ～ センターホームページをリニューアルしました ～



札幌歯科医師会 口腔医療センター  
Sapporo Dental Association Oral Medical Center

アクセスマップ 駐車場のご案内  
札幌市中央区南7条西10丁目 札幌歯科医師会館1階

Contents Menu

- ホーム
- センター紹介
- 事業案内
- 機関誌「ばるす」
- アクセスマップ
- 関連リンク
- 札幌会員・所員向け事業
- BLOG
- お問い合わせ

事業案内

年中無休  
**夜間救急歯科診療**  
011-511-7774

予約制  
**障がい者歯科診療**  
011-512-9497

予約制  
**摂食・嚥下リハビリテーション**  
011-512-9497

F A Q  
よくあるご質問

インフォメーション 一覧を見る



\* インターネットが普及、定着した昨今、企業や団体が公式ホームページ(公式ウェブサイト)を運営するのが一般的となっております。口腔医療センターは平成15年7月にホームページを開設し、平成18年9月に一度リニューアルを行いました。センターのホームページには一日あたり平均673人(平成21年度)の方の閲覧があり、アクセス数は年々増加の傾向にあります。今回、これまでのホームページの構成を再検討し、必要とされている情報がスムーズに得られるようその利便性を向上させることを目的として昨年6月11日にリニューアルしました。

今回のリニューアルのポイントは次のとおりです。夜間救急診療部では診療受け付け時間、駐車場、公共交通機関等の情報の表示を視覚的にわかりやすくするように改良、さらに診療申し込み書をダウンロードして受付時間の短縮できるようにしました。障がい者診療部では写真を多用し診療室の様子をわかりやすく伝える、行動調整に用いられる絵カードをダウンロードできるようにする、摂食・嚥下リハに用いられる検査を動画で見ることができるよう等、コンテンツの充実に努めました。またブログを新設、センタースタッフや所員が参加できるコーナーを作りました。さらにホームページ全体のフレームワークに関連してですが市販のホームページ用ソフトを使用して簡単にセンター所員が新しいページや記事を追加できるようにしました。今までは決まった枠の中に記事を追加していく方式でしたがこれから記事や写真の配置等も変えることが可能になりました。札幌歯科医師会会員向けの情報、一般市民向けのコンテンツ等も充実していく予定です。皆様も当センターホームページを時々覗いてくださればとても嬉しいです。ブログへの投稿もOKです。

企画研修部部長 中澤 潤

### 救急診療部からのお知らせ

夜間の歯の痛みなど、救急処置を目的としています。継続的な治療は受けられませんのでご注意ください。

#### 診療のご案内

診療時間 : 19:00~23:00

受付開始時刻 : 18:30

年中無休

電話番号 : (011)511-7774

### 障がい者診療部からのお知らせ

障がい者診療部は完全予約制になっております。

#### 診療のご案内

予約時間 : 火~金 9:15~17:15

診療時間 : 月 14:00~17:00

火~土 9:30~17:00

金 9:00~17:00

(午前中は全身麻酔下診療)

電話番号 : (011)512-9497